

1ねん学年だよ!!

平成30年12月25日(火) 第38号



祝★ 2学期を完走! [前編]



2学期最後の学年だよりは先週に配布したつもりでしたが、みんなの川柳を見てみると、やはり紹介しないワケにはいきません! そこで、【番外編】みたいに、いくつかの川柳を紹介しながら、61期生の2学期を締めくくろうと思います。ホントにみんな、よく頑張ったね!!

- | | |
|------------------|-------------------|
| ◆2学期は団結力が高まった | ◆2学期はいつも楽しく過ごせたよ |
| ◆2学期は思い出いっぱい楽しいな | ◆2学期は行事たくさん楽しいな |
| ◆みんなとの仲が深まった2学期だ | ◆協力し 仲が深まる2学期だ |
| ◆笑顔がねたくさん増えた2学期だ | ◆2学期はなんだかんだで笑ったなあ |

やはり【2学期】という語を川柳の中に詠み込んでいる人が多かったです。上に紹介したものが、それらの代表です。同じような川柳を詠んだ人もたくさんいます。正直にいうと、川柳として「うまい!」というワケではないのですが、とにかく「2学期が楽しかった」という気持ちは伝わってきます。余裕があれば、「楽しかった」という気持ちを、「楽しい」という語を使わずに表現してみれば、もっと豊かな表現になります。さて、川柳の中にもあるように、2学期のクラス対抗行事を通して、どのクラスでも「絆が深まった」・「仲が良くなった」と感じている人が多いようです。キミたちだけでなく、先生たちも2学期を通して“学年の絆”の深まりを感じて嬉しく思っています。それを川柳に詠み込めるのは素晴らしいチカラですよ。



- | | |
|--------------------|------------------|
| ◆試験終わり 気を抜いたらまたテスト | ◆授業中 うるさくなって叱られる |
| ◆学力は下り階段 ヤバイっす | ◆気がゆるみ怒られて皆口閉じる |
| ◆勉強で憎しみ覚え“ふくしゅう”する | ◆授業中 謎の発言 盛り上がる |
| ◆6限目 時計の針とにらめっこ | ◆勉強も部活も全部イマイチだ…。 |



次は、いわば【授業シリーズ】でしょうか。実際に、2学期に入ってから授業の内容が難しくなってきた、勉強に苦戦したという人は多いのではないのでしょうか。そんな中、何とか授業を楽しもうという気持ちのある人がいるのは頼もしい限りです。きっと未来は明るいね。一方、学校生活に慣れたことで、気持ちが緩んでしまって先生たちから注意を受ける場面が増えたのも事実です。そんな中、「勉強も部活もイマイチだ」というキミ、長い人生ですから、そんなときもあります。だからといって諦めるのは何よりダメですよ。人生に“試合終了”はありません。何度ダウンしても歯を食いしばって立ち上がり、“ファイティングポーズ”をとってください。

祝☆ 2学期を完走! [後編]



- | | |
|-------------------|---------------------|
| ◆思いやり 感じたことが多かった | ◆たくさんの落ち葉集めて3万枚 |
| ◆冬になり 気温とギャグがマジ寒い | ◆様々な行事にクラス燃え上がる |
| ◆マジで 心がひとつになったとき | ◆騒がしい それもクラスのいいところ |
| ◆冬だけど ほくらの心 燃え上がる | ◆持久走 寒さに負けず走ったよ |
| ◆筋肉痛持ちでも走る持久走 | ◆貝だくさん みんなの個性で作るカレー |
| ◆先生が 一番行事 必死です | ◆我がクラス 個性強すぎ濃いんだな～ |



あとは【授業以外シリーズ】とでもいいでしょうか。なんせ2学期は行事がたくさんありましたので、それらの行事を通して感じたことを川柳に詠み込んでいる人もたくさんいました。2学期は「水泳大会」・「合唱コンクール」・「文化発表会」・「体育大会」と、大きな行事がありましたが、どの行事も各クラスが切磋琢磨して、たいへん盛り上がりました。みんなが自分のクラスを応援しながら、それでいて他のクラスのことも認めつつ、時には他のクラスをも応援していました。先生たちが最もうれしいのは、どのクラスの人も自分の心の中に“クラス愛”を^{はぐく}んでいることです。《隣の芝生は青い》というように、時には他のクラスのことがうらやましく感じることもあるでしょう。それでも、確実に自分のクラスへの愛着を深めていることが川柳からも伝わってきて、そのことが先生たちにはとてもうれしいのです。



明日から約2週間の冬休みに入ります。その間、キミたちは学校を離れて過ごすことになります。キミたちはあまり意識しないと思いますが、“校則”に^{しば}られない社会には、確かに“自由”なことが多いかもしれません。しかし、その反面、自分で気をつけないといけないこともたくさんあります。“責任”が問われる場面も、間違いなく多いといえます。たとえば、お正月にもらったお年玉を持って友だち同士で遊びに行くとき、“誘惑”はたくさんあります。しかし、その裏では“危険”が^{ひそ}かにたくさん潜んでいることも忘れてはいけません。「事件に巻き込まれよう」などと思って事故に遭う人はいません。誰でも「自分は事故に遭わないだろう」と思っていて、それでもトラブルに巻き込まれるのです。また、万一、キミが“道”に迷いそうになったときは、どうか家族の人の顔を思い出してください。その次には、学校の先生たちの顔を思い出してください。キミに“もしものこと”があったら、家族の人は、先生たちは、どんな言葉をかけるでしょうか。喜ぶでしょうか。悲しむでしょうか。1月7日、全員が元気な姿で再会しましょう!!

保護者のみなさまへ

2学期の最後に“オマケ”のような学年だよりをお届けします。学年では、何かことあるごとに川柳を創作することになっています。短時間でも、楽しい作品を創る生徒がたくさんいます。今回は、2学期の学校生活が思い浮かぶものを紹介しました。生徒たちは、家庭で学校の話をしなくなる“お年頃”です。こういった学年だよりや川柳から、61期生が健気に学校生活を送っている姿を想像し安心していただければ幸いです。来る年2019年もよろしくお願いいたします。